

福祉

夏の暑さが和らぎ、徐々に木々が秋の色に変わってきました。
いなべ総合でも夏休みが終わり、9月から授業がスタート
しています。

今回は、レクリエーションの授業を紹介します。

レクリエーションは娯楽や遊びという意味合いで捉えられる
ことがあるのですが、福祉では、「いきいきと楽しく人生を
充実させて生きる」と捉えられています。

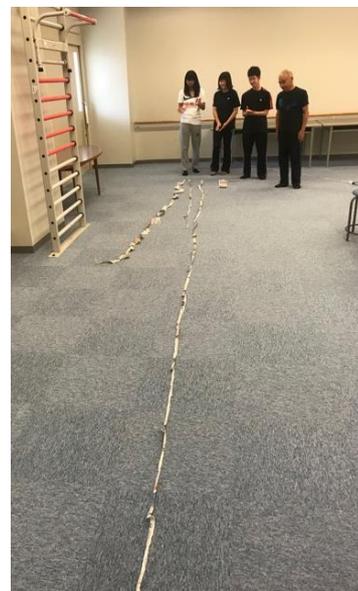
今回も、介護施設職員である外部講師の指導のもと、
身近にある新聞紙を使って、手軽に出来るレクリエーション
を体験しました。

まずは、5分間で1枚の新聞紙をどれだけ長くちぎることが
できるのか、全員で競争しました。新聞紙はどの方向がちぎり
やすいのか、どのようにちぎっていくと長くすることができる
のかなど、単純作業と思いきや、意外と頭を使います。

結果は、7m60cmという圧倒的な長さで生徒が優勝しました。
その後、椅子に座った状態で、足だけで新聞紙をたぐり寄せる「紙た
ぐり」や、細かくちぎった新聞紙をうちわであおいで相手の方に
追いやる「陣取り合戦」など、他にもいろいろな種目を体験しました。



意外と難しく、全員本気でちぎっています。



最高記録は、7m60cm！



足だけで新聞紙をたぐり寄せる「紙たぐり」



相手に紙を追いやる「陣取り合戦」

生徒たちは、こうしたレクリエーションを体験しながら、レクリエーションの効果について考えを巡らせていきます。

「最初は遊びだと思ったけど、意外と頭や身体を使うので、楽しくトレーニングができる」という心身機能を維持する機能訓練に対する気づき。

「みんなでやることで、競争心が出たり、達成感が出たりして、楽しんで取り組むことができた」という他者との交流がやる気や意欲を引き出すことへの気づき。

また、「新聞紙を長くちぎるなどは、不器用な人にはきついのでは？」という、その人に適したものを考えるという、レクリエーションのあり方に対する気づきもありました。

今回の体験を通し、生徒たちは自ら気づき、考えを深め、視野を広げていることがよくわかります。

番外編

いつもお世話になっている外部講師の方が所属する介護施設に、見学に行ってきました！初めて見る介護施設に、生徒たちは興味津々！利用者さんと会話をしたり、ディサービスのレクリエーションに参加させてもらったり、と短い時間ではありましたが、生徒たちにとって貴重な経験ができました。

見学させていただいた介護施設のみなさま。温かく迎え入れていただき、ありがとうございました。

